

# AGC

Your Dreams, Our Challenge

高物性

環境対応型 特化則非該当(特定化学物質 無配合)

1液ウレタン防水材

# サラセーヌ®SB

2023年12月版

環境対応型 特化則非該当(特定化学物質 無配合)  
1液ウレタン防水材

# サラセーヌ®SB

環境対応型  
特化則非該当

省力化

高物性  
タイプ

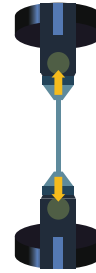
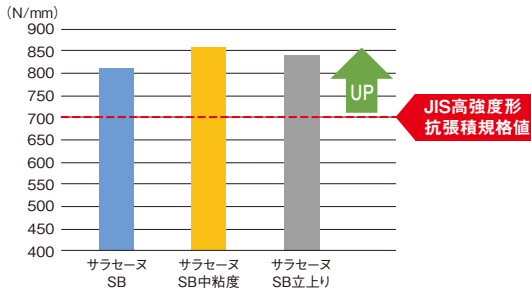
## 「サラセーヌSB」の特長

### 1 抗張積が向上

### 高物性タイプ

高物性  
防水材

サラセーヌSBは、JIS高伸長形のウレタン防水材でありながら、JIS高強度形の抗張積(塗膜の強靭さを示した値)規格値の700N/mm以上を満たした高物性タイプの防水材です。



抗張積とは

抗張積とはウレタンの伸び率と引張強さを掛け合わせた数値で、数値が高いほど耐久性に富んだ塗膜バランスの高いウレタン防水材と言えます。

### 2 1液タイプだから

### 省力化

1液タイプだから、主剤や硬化剤の計量・攪拌作業が不要です。施工現場に缶を持っていき、その場で塗布できます。工事現場の省力化を図り、作業不足問題に対応します。



攪拌作業が  
必要ないので  
硬化不良の  
心配がありません！

### 3 特定化学物質無配合防水材

### 環境対応型 特化則非該当

施工環境に配慮

MOCA
TDI
その他の特定化学物質
鉛化合物
室内環境基準の対象13物質
学校環境衛生基準の対象6物質

無配合  
0%

特化則で定められた対応は必要ありません

作業主任者の選定
当該物質に関する掲示
各種記録の長期保存

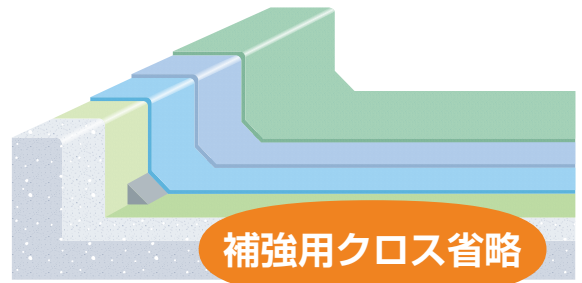
不要

# 使い方もいろいろ4つの提案

## 高物性

### 01 補強用クロス省略で、工期短縮が可能！

サラセーヌSBは高物性タイプのため、補強用クロスを省略することができ、人手不足解消に向けた作業の簡素化を実現します。適用箇所はベランダ、開放廊下、屋上、ルーフバルコニーなど、多岐にわたります。



※上記工法の詳細については、3ページをご参照ください。

## 1液タイプ

### 02 超高層マンションや市街地密集地など、 ネタ場スペースや電源が確保しにくい場所に有効！

超高層マンションや市街地密集地は、ネタ場スペースや攪拌機の電源を確保することが難しいことが多々あります。缶を持っていき、その場で塗布することで悩みも解消します。



## 1液タイプ

### 03 1液タイプだから作業時間を最大限に使える！

2液タイプは真夏などの気温が高い時期は粘度上昇が速く、作業時間が短くなる傾向があります。1液タイプでは表面から硬化が始まるため、作業時間を気にする必要がありません。

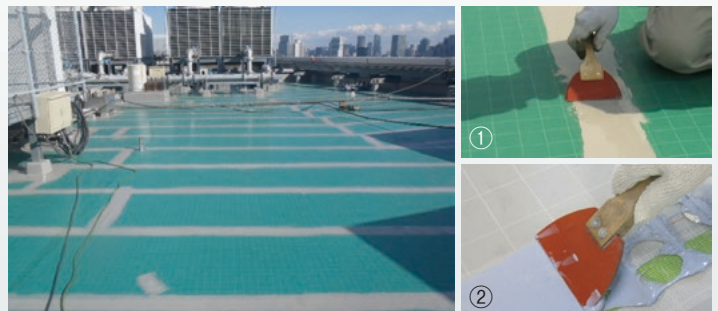
急がないと  
作業時間が  
無くなる！



## 1液タイプ

### 04 通気緩衝工法のジョイント処理に便利！

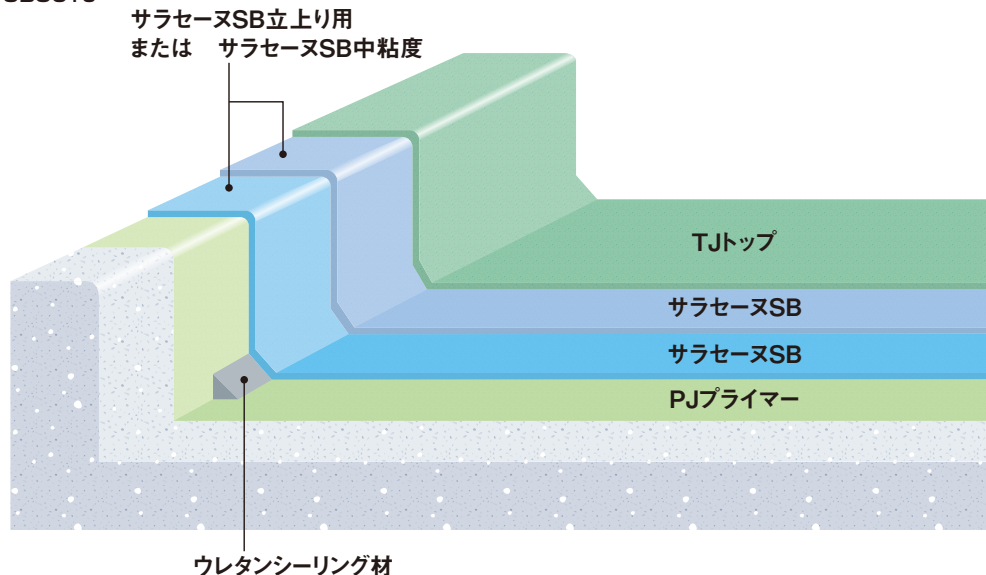
ジョイント処理や端部処理にサラセーヌSB立上り用が非常に便利です。QVシート(写真①)やMシート(写真②)を張り付け後、そのまま処理作業できるので作業効率が向上します。



## 適用部位: 屋上・ルーフバルコニー

# 密着SD工法

サラセーヌSDN-SB30TJ



### 環境対応型 特化則非該当 補強用クロス省略仕様

工法名	工程	使用量(kg/m <sup>2</sup> )	備考
SDN-SB30TJ SDN-SB30TJフッ素	1 PJプライマー	0.2	屋上・ルーフバルコニー 歩行用平場仕様*1 防水層厚み平均3mm
	2 サラセーヌSB	2.0	
	3 サラセーヌSB	1.9	
	4 TJトップ または TJフッ素	0.2 0.15	
SDN-SB立上り20TJ SDN-SB立上り20TJフッ素	1 PJプライマー	0.2	共通立上り仕様*2 防水層厚み平均2mm
	2 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度	1.3	
	3 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度	1.3	
	4 TJトップ または TJフッ素	0.2 0.15	

### 一般 補強用クロス省略仕様

工法名	工程	使用量(kg/m <sup>2</sup> )	備考
SDN-SB30T	1 サラセーヌP	0.2	屋上・ルーフバルコニー 歩行用平場仕様*1 防水層厚み平均3mm
	2 サラセーヌSB	2.0	
	3 サラセーヌSB	1.9	
	4 サラセーヌT	0.2	
SDN-SB立上り20T	1 サラセーヌP	0.2	共通立上り仕様*2 防水層厚み平均2mm
	2 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度	1.3	
	3 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度	1.3	
	4 サラセーヌT	0.2	

※出隅部等の膜厚が確保できない場合は、数回に使用量を分けたり、補強用クロスまたはクロステープ#100をご使用ください。

\*1: 密着工法は、小面積や既存ウレタン防水下地用です。段差やクラック処理部分には、下地処理として補強用クロスをご使用ください。

\*2: 入隅は、必要に応じてウレタンシーリング材で三角打ち(10mm幅程度) 処理してください。

・「歩行用」とは不特定多数の歩行に供する場合を言います。

・下地の種類に応じてプライマーを追加したり、選定し直す必要があります。詳細は「サラセーヌ防水カタログ」をご参照ください。

既存ウレタン防水下地の場合は、「PJプライマー」を「PJ層間プライマー」に、「サラセーヌP」を「P-60プライマー」に変更してください。

標準使用量は、いずれも0.1kg/m<sup>2</sup>です。

・下地の状態やプライマーの種類によって塗布量は異なります。

・保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては「サラセーヌ防水カタログ」をご参照ください。

・品確法で定める新築住宅の場合、保護仕上材として「TJフッ素」、「サラセーヌTフッ素水性」、「TSトップ」をご採用ください。

・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

# こんな使い方もある、サラセーヌSB中粘度 勾配屋根\*1用防水工法(代表例)

## 環境対応型 特化則非該当 補強用クロス省略仕様

工法名	工程	使用量(kg/m <sup>2</sup> )	備考
SDN-SB中粘度30TJ SDN-SB中粘度30TJフッ素	1 PJプライマー	0.2	勾配屋根用 防水層厚み平均3mm
	2 サラセーヌSB中粘度	1.3	
	3 サラセーヌSB中粘度	1.3	
	4 サラセーヌSB中粘度	1.3	
	5 TJトップ または TJフッ素	0.2 0.15	
SDN-SB立上り20TJ SDN-SB立上り20TJフッ素	1 PJプライマー	0.2	共通立上り仕様*2 防水層厚み平均2mm
	2 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度	1.3	
	3 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度	1.3	
	4 TJトップ または TJフッ素	0.2 0.15	

## 一般 補強用クロス省略仕様

工法名	工程	使用量(kg/m <sup>2</sup> )	備考
SDN-SB中粘度30T	1 サラセーヌP	0.2	勾配屋根用 防水層厚み平均3mm
	2 サラセーヌSB中粘度	1.3	
	3 サラセーヌSB中粘度	1.3	
	4 サラセーヌSB中粘度	1.3	
	5 サラセーヌT	0.2	
SDN-SB立上り20T	1 サラセーヌP	0.2	共通立上り仕様*2 防水層厚み平均2mm
	2 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度	1.3	
	3 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度	1.3	
	4 サラセーヌT	0.2	

※出隅部等の膜厚が確保できない場合は、使用量を数回に分けるか、補強用クロスまたはクロステープ#100をご使用ください。

\*1：勾配の目安は30度(6寸勾配、6/10勾配)以下です。

\*2：入隅は、ウレタンシーリング材で三角打ち(10mm幅程度)処理をしてください。

・防水材「サラセーヌSB中粘度」の増粘が必要な場合は、TKパウダーを使用してください。必要に応じて「サラセーヌSB立上り用」を使用してください。

・下地の種類に応じてプライマーを追加したり、選定し直す必要があります。詳細は「サラセーヌ防水カタログ」をご参照ください。

・下地の状態やプライマーの種類によって塗布量は異なります。

既存ウレタン防水下地の場合は、「PJプライマー」を「PJ層間プライマー」に、「サラセーヌP」を「P-60プライマー」に変更してください。

標準使用量は、いずれも0.1kg/m<sup>2</sup>です。

・保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては「サラセーヌ防水カタログ」をご参照ください。

・品確法で定める新築住宅の場合、保護仕上材として「TJフッ素」、「サラセーヌTフッ素水性」、「TSトップ」をご採用ください。

・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

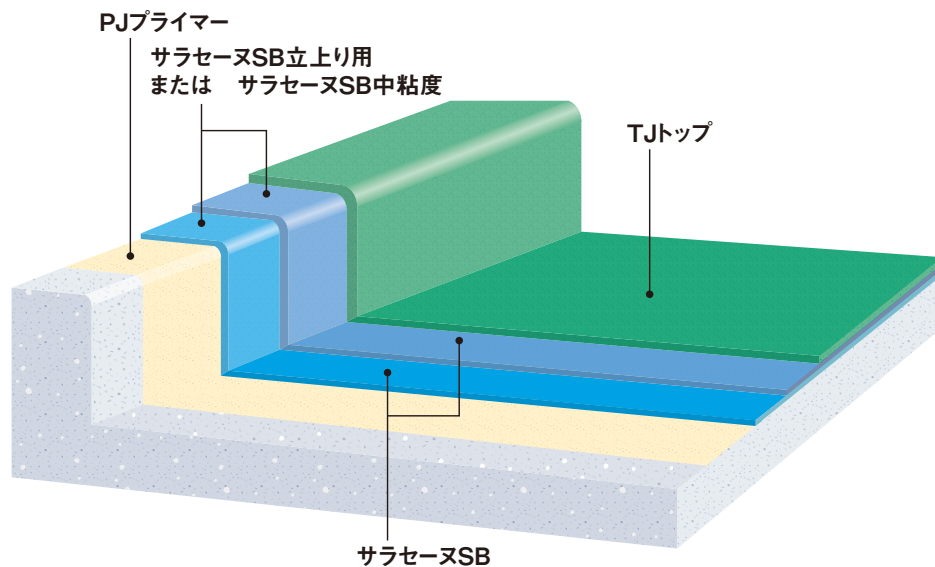


勾配屋根使用例

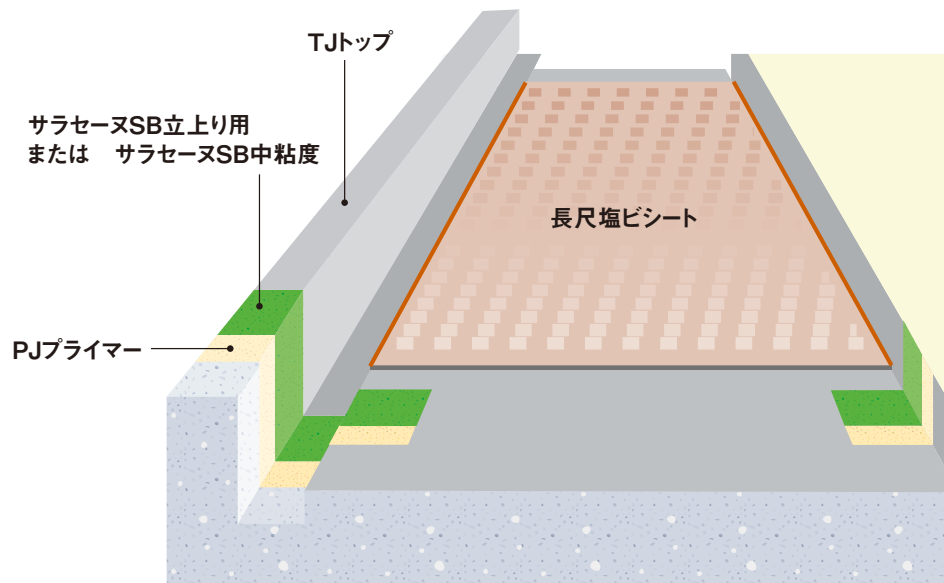
適用部位:ベランダ・開放廊下など (階下に居室がない部位)

# 密着SD工法

サラセーヌSD-SB20TJ



サラセーヌSDN-SB立上り15TJ



環境対応型 特化則非該当仕様

工法名	工 程	使用量(kg/m <sup>2</sup> )	備 考
SD-SB20TJ SD-SB20TJフッ素	1 PJプライマー	0.2	ベランダなど 歩行用平場仕様 防水層厚み平均2mm
	2 サラセーヌSB	1.5	
	3 サラセーヌSB	1.1	
	4 TJトップ または TJフッ素	0.2 0.15	
SDN-SB立上り20TJ SDN-SB立上り20TJフッ素	1 PJプライマー	0.2	共通立上り・笠木・ 側溝・巾木仕様 防水層厚み平均2mm
	2 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度	1.3	
	3 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度	1.3	
	4 TJトップ または TJフッ素	0.2 0.15	
SD-SB立上り20TJ SD-SB立上り20TJフッ素	1 PJプライマー	0.2	補強用クロス入り 立上り仕様 防水層厚み平均2mm
	2 サラセーヌSB立上り用 / サラセーヌクロス	0.8 —	
	3 サラセーヌSB立上り用	1.1	
	4 サラセーヌSB立上り用	0.7	
	5 TJトップ または TJフッ素	0.2 0.15	
SDN-SB立上り15TJ SDN-SB立上り15TJフッ素	1 PJプライマー	0.2	長尺塩ビシート複合 側溝・巾木仕様 防水層厚み平均1.5mm
	2 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度	2.0	
	3 TJトップ または TJフッ素	0.2 0.15	

一般仕様

工法名	工 程	使用量(kg/m <sup>2</sup> )	備 考
SD-SB20T	1 サラセーヌP	0.2	ベランダなど 歩行用平場仕様 防水層厚み平均2mm
	2 サラセーヌSB	1.5	
	3 サラセーヌSB	1.1	
	4 サラセーヌT	0.2	
SDN-SB立上り20T	1 サラセーヌP	0.2	共通立上り・ 側溝・巾木仕様 防水層厚み平均2mm
	2 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度	1.3	
	3 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度	1.3	
	4 サラセーヌT	0.2	
SD-SB立上り20T	1 サラセーヌP	0.2	補強用クロス入り 立上り仕様 防水層厚み平均2mm
	2 サラセーヌSB立上り用 / サラセーヌクロス	0.8 —	
	3 サラセーヌSB立上り用	1.1	
	4 サラセーヌSB立上り用	0.7	
	5 サラセーヌT	0.2	
SDN-SB立上り15T	1 サラセーヌP	0.2	長尺塩ビシート複合 側溝・巾木仕様 防水層厚み平均1.5mm
	2 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度	2.0	
	3 サラセーヌT	0.2	

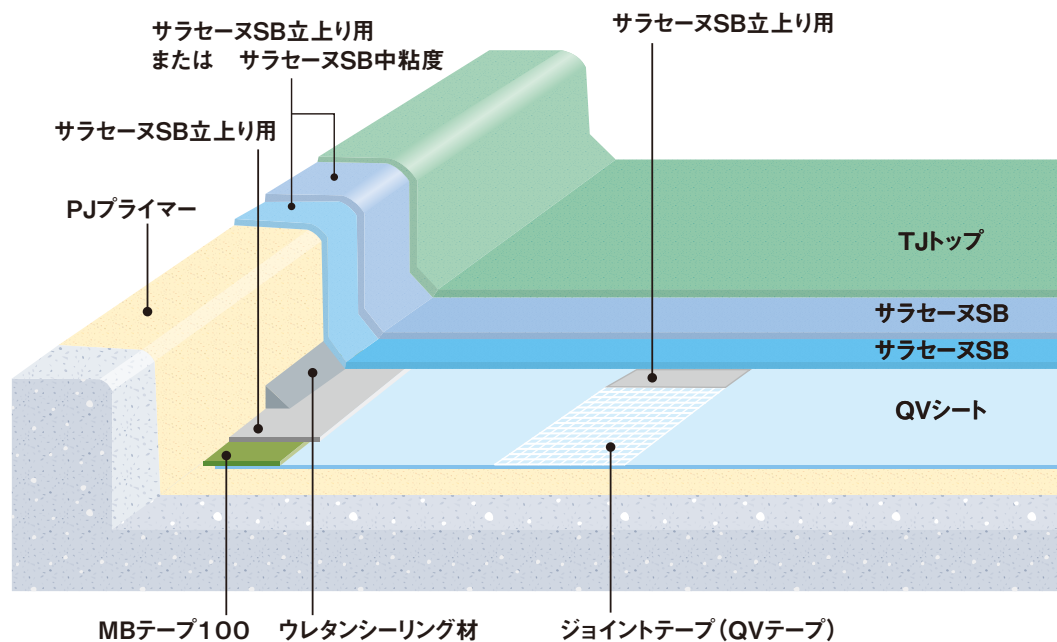
- ※出隅部等の膜厚が確保できない場合は、数回に使用量を分けたり、補強用クロスまたはクロステープ#100をご使用ください。
- ・「歩行用」とは不特定多数の歩行に供する場合を言います。
  - ・下地の種類に応じてプライマーを追加したり、選定し直す必要があります。詳細は「サラセーヌ防水カタログ」をご参照ください。
  - ・下地の状態やプライマーの種類によって塗布量は異なります。
- 既存ウレタン防水下地の場合は、「PJプライマー」を「PJ層間プライマー」に、「サラセーヌP」を「P-60プライマー」に変更してください。  
標準使用量は、いずれも0.1kg/m<sup>2</sup>です。
- ・保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては「サラセーヌ防水カタログ」をご参照ください。
  - ・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。



適用部位: 屋上・ルーフバルコニーなど

# サラセーナ® 通気緩衝QV工法

サラセーナQV-SB50TJ



環境対応型 特化則非該当仕様

工法名	工程	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	備考
QV-SB50TJ QV-SB50TJフッ素	1 PJプライマー	0.2	歩行用平場仕様 防水層厚み平均2.5mm
	2 QVシート	1.06 m	
	ジョイントテープ/サラセーナSB立上り用	1.06 m	
	MBテープ100	—	
	3 サラセーナSB	1.7	
	4 サラセーナSB	1.6	
QV-SB45TJ QV-SB45TJフッ素	5 TJトップ または TJフッ素	0.2 0.15	非歩行用平場仕様 防水層厚み平均2mm
	1 PJプライマー	0.2	
	2 QVシート	1.06 m	
	ジョイントテープ/サラセーナSB立上り用	1.06 m	
	MBテープ100	—	
	3 サラセーナSB	1.3	
SDN-SB立上り20TJ SDN-SB立上り20TJフッ素	4 サラセーナSB	1.3	共通立上り仕様* 防水層厚み平均2mm
	5 TJトップ または TJフッ素	0.2 0.15	
	1 PJプライマー	0.2	
	2 サラセーナSB立上り用 または サラセーナSB中粘度	1.3	
	3 サラセーナSB立上り用 または サラセーナSB中粘度	1.3	
	4 TJトップ または TJフッ素	0.2 0.15	



## 一般仕様

工法名	工 程	使用量(kg/m <sup>2</sup> )	備 考
QV-SB50T	1 サラセーヌP	0.2	歩行用平場仕様 防水層厚み平均2.5mm
	2 QVシート	1.06 m	
	ジョイントテープ/サラセーヌSB立上り用	1.06 m	
	MBテープ100	—	
	3 サラセーヌSB	1.7	
	4 サラセーヌSB	1.6	
QV-SB45T	5 サラセーヌT	0.2	非歩行用平場仕様 防水層厚み平均2mm
	1 サラセーヌP	0.2	
	2 QVシート	1.06 m	
	ジョイントテープ/サラセーヌSB立上り用	1.06 m	
	MBテープ100	—	
	3 サラセーヌSB	1.3	
SDN-SB立上り20T	4 サラセーヌSB	1.3	共通立上り仕様* 防水層厚み平均2mm
	5 サラセーヌT	0.2	
	1 サラセーヌP	0.2	
	2 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度	1.3	
	3 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度	1.3	
	4 サラセーヌT	0.2	

- ※出隅部等の膜厚が確保できない場合は、数回に使用量を分けたり、補強用クロスまたはクロステープ#100をご使用ください。
- \*入隅は、ウレタンシーリング材で三角打ち(10mm幅程度)処理をしてください。
- ・「歩行用」とは不特定多数の歩行に供する場合を言います。
  - ・「非歩行用」とは点検程度の人の歩行に供する場合を言います。
  - ・下地やシート裏面が濡れていないことを確認してください。
  - ・下地の種類に応じてプライマーを追加したり、選定し直す必要があります。詳細は「サラセーヌ防水カタログ」をご参照ください。
  - ・下地の状態やプライマーの種類によって塗布量は異なります。
  - ・保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては「サラセーヌ防水カタログ」をご参照ください。
  - ・品確法で定める新築住宅の場合、保護仕上材として「TJフッ素」、「サラセーヌTフッ素水性」、「TSトップ」をご採用ください。
  - ・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## 自着層タイプ通気緩衝 — QVシート —

QVシートの裏面には、下地と強力に粘着させるため特殊なアスファルト系の粘着層を採用しています。

粘着層のない溝を下地の水分が通気する仕組みです。

さらにQVシート表面には、特殊なフィルムが施してあるため、突如の降雨などにも優れた遮水性を発揮します。

また、QVシートにはウレタン防水材料を直接塗布することができます。



### QVシート

無孔通気緩衝シート

- 改質アスファルト／ポリエステルフィルム
- 荷姿：(幅1.04m×長さ15m) ×1巻
- シートの表層をテープ補強した商品が含まれる場合がありますが、品質に問題ありません。

## シート同士の重ね張りでジョイント部も一体化

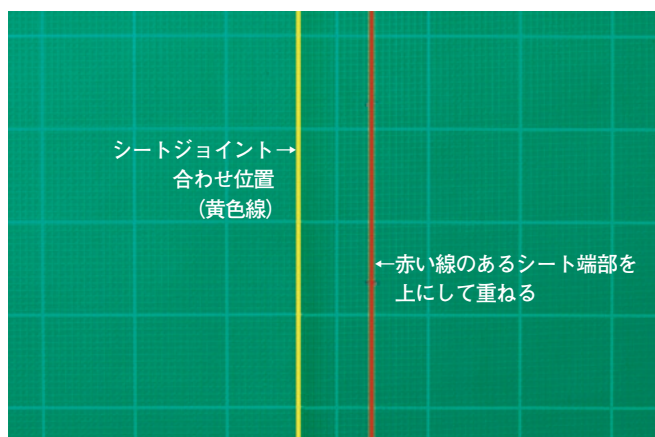
QVシートは、ジョイント部(長辺)を重ね合わせることで、ジョイント部が一体化し防水機能を高めます。

シート表面の黄色線があるシートジョイントを下に、赤色線があるシートジョイントを上にして重ね、上から重ねるシート端部を黄色の線に合わせて張り付けます。

重なり合う端部のシートは段差調整加工してあるので、シート同士の高さを合わせやすく、シームレスな仕上がりになります。

ジョイントを重ねることにより、シート端部の反りあがりを抑制します。

短辺部のジョイントは2mm程度あけて張り付けてください。



シートジョイント→  
合わせ位置  
(黄色線)

←赤い線のあるシート端部を  
上にして重ねる

## 確実なシートジョイント処理

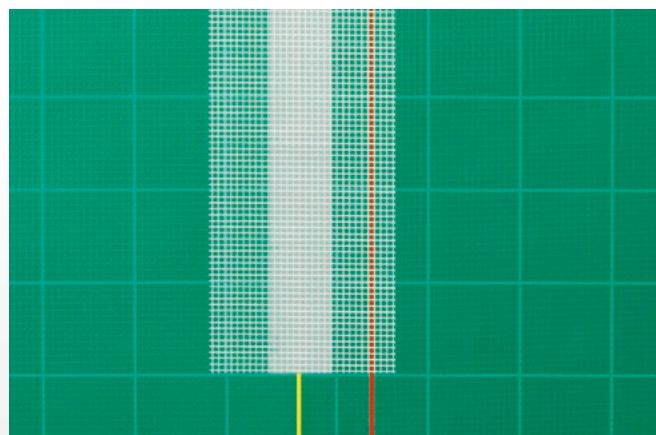
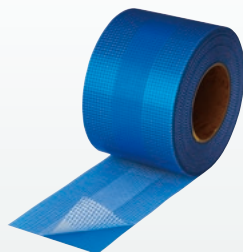
QVシートジョイント処理用テープ「ジョイントテープ」(QVテープ)は、ジョイント部分を補強するため、特殊加工したポリエステルテープと補強用クロスを一体化した構成で、補強用クロスの部分にウレタン防水材料が部分密着し、ジョイント挙動に強い構造になっています。

ハサミで容易に裁断可能で、青い剥離紙フィルムを剥がしながら貼ります。

### ジョイントテープ (QVテープ)

QVシートジョイント処理用テープ

- ガラス繊維織布／ポリエステルフィルム
- 荷姿：(幅100mm×長さ50m) ×4巻/箱



### おすすめ

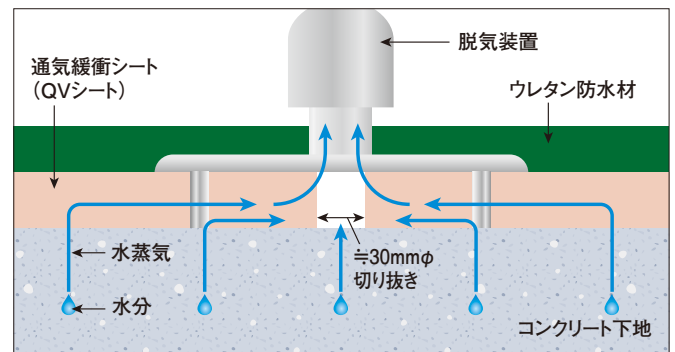
QVシートジョイント処理の「ジョイントテープ」(QVテープ)上の防水材料シゴキ塗りには、1液防水材料「サラセーヌSB立上り用」が便利です(0.5kg/m<sup>2</sup>、50~60g/m)。



## 下地の水分を逃し、脱気が可能

下地のコンクリート内に滞留する水分は、気温が上がると気化し防水層にふくれを生じさせることがあります。QVシートは、ストライプ状の粘着層以外は通気させる溝になっているため、気化した水蒸気の圧力を拡散させ、局部的なふくれを防止する効果を発揮します。シート内に拡散した水蒸気圧力は、脱気筒(ステンレスベント)より脱けていきます。

※脱気筒を設置の際は、QVシート裏面の粘着層のない溝の部分で直径30mm程度切り抜き、その上に脱気筒を設置してください。



## 下地への強い粘着性を発揮

QVシートの裏面にあるストライプ状の粘着層は、転圧ローラーを使用することで確実な粘着性を発揮します。

荷重が10kg以上掛けられる転圧ローラーをおすすめします。下地の不陸(凹凸)によっては著しく粘着力が低下することがあります。※下地やシート裏面が濡れていないことを確認してください。

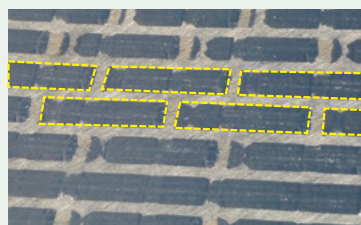


## 注意事項

下地の不陸を平滑にしてください！



下地の不陸による凹凸が目立つことがあります。

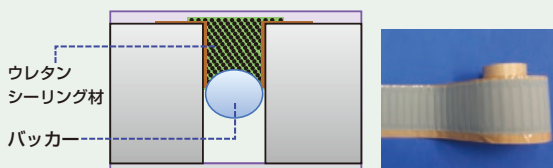


粘着層のストライプ形が目立つことがあります。

転圧は10kg以上の荷重がかかる転圧ローラーを使用してください！



伸縮目地を平滑に仕上げてください！



**目地段差に注意！**

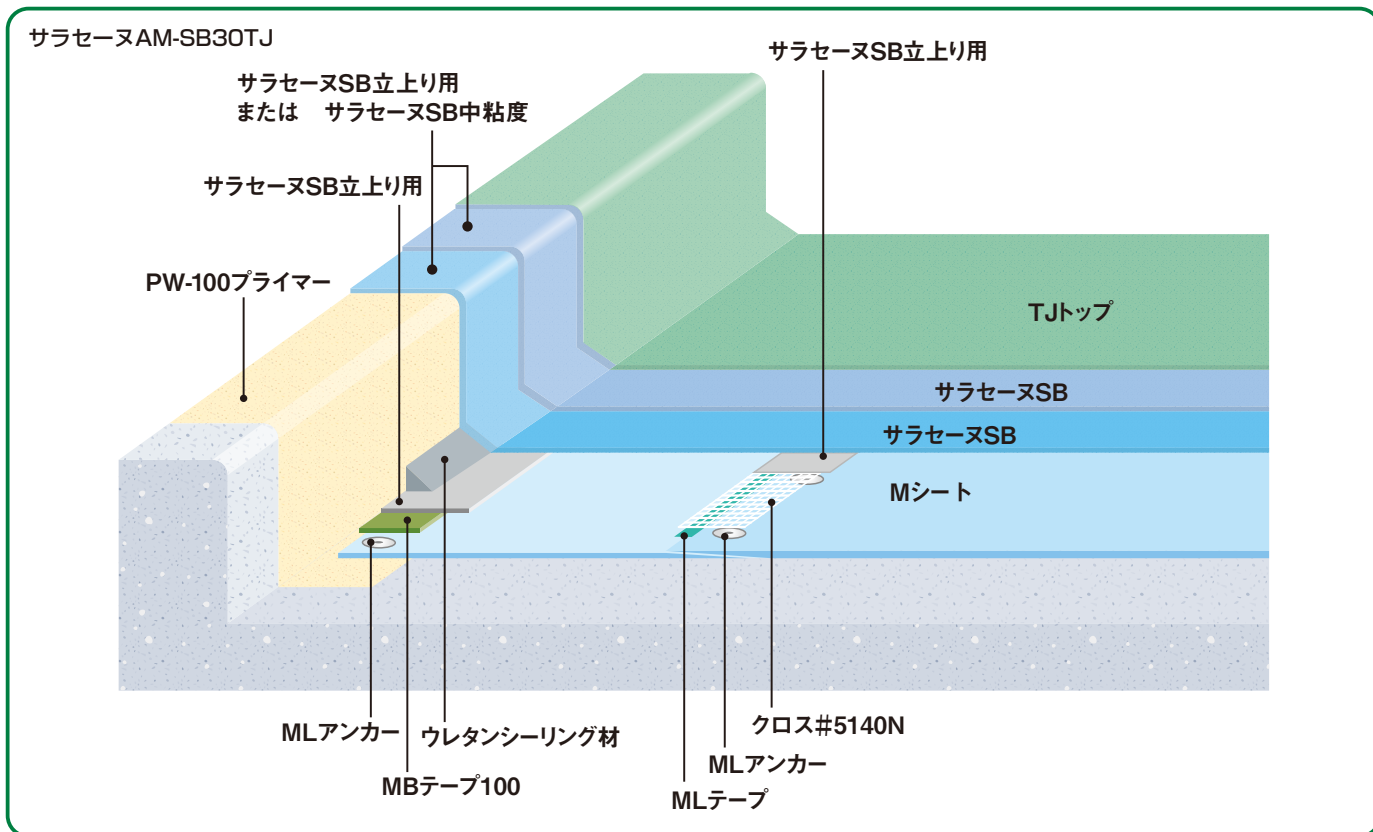
目地処理用テープ「メジキーパー-A」も有効です。(製造元：株式会社秀カンパニー)

サラセーヌQV工法は、保護コンクリートおよびウレタン防水層の下地を対象としています。

事前に「通気緩衝QV工法 施工上の注意」を必ずお読みください。

適用部位: 屋上など (異種防水下地)

# サラセーヌ<sup>®</sup> 機械的固定AM工法



## 環境対応型 特化則非該当仕様

工法名	工程	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	備考
AM-SB30TJ AM-SB30TJフッ素	1 Mシート	1.06 m	軽歩行用平場仕様 防水層厚み平均3mm
	MLアンカー	3.2 箇所	
	MLテープ	1.06 m	
	クロス#5140N/サラセーヌSB立上り用	1.06 m	
	端末処理用テープ MBテープ100	—	
	2 サラセーヌSB	2.0	
	3 サラセーヌSB	2.0	
4 Tjトップ または Tjフッ素	0.2 0.15	立上り仕様* 防水層厚み平均2mm	
AMN-SB立上り20TJ AMN-SB立上り20TJフッ素	1 PW-100プライマー		0.25
	2 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度		1.3
	3 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度		1.3
	4 Tjトップ または Tjフッ素	0.2 0.15	

## 一般仕様

工法名	工 程	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	備 考
AM-SB30T	1 Mシート	1.06 m	軽歩行用平場仕様 防水層厚み平均3mm
	MLアンカー	3.2箇所	
	MLテープ	1.06 m	
	クロス#5140N/サラセーヌSB立上り用	1.06 m	
	端末処理用テープ MBテープ100	—	
	2 サラセーヌSB	2.0	
	3 サラセーヌSB	2.0	
4 サラセーヌT	0.2		
AMN-SB立上り20T	1 PW-100プライマー	0.25	立上り仕様* 防水層厚み平均2mm
	2 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度	1.3	
	3 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度	1.3	
	4 サラセーヌT	0.2	

※出隅部等の膜厚が確保できない場合は、数回に使用量を分けたり、補強用クロスまたはクロステープ#100をご使用ください。

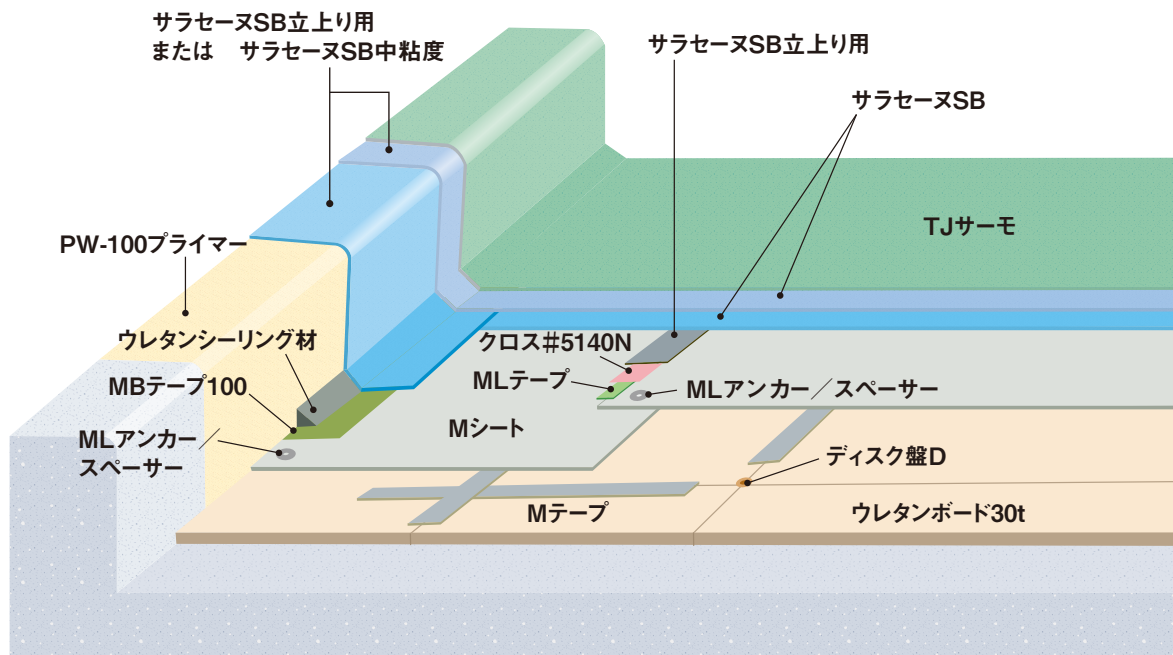
\*入隅は、ウレタンシーリング材で三角打ち(10mm幅程度)処理をしてください。

- ・「軽歩行用」とは特定の人の歩行に供する場合を言います。
- ・下地やシート裏面が濡れていないことを確認してください。
- ・下地の種類に応じてプライマーを追加したり、選定し直す必要があります。詳細は「サラセーヌ防水カタログ」をご参照ください。
- ・下地の状態やプライマーの種類によって塗布量は異なります。
- ・保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては「サラセーヌ防水カタログ」をご参照ください。
- ・品確法で定める新築住宅の場合、保護仕上材として「TJフッ素」、「サラセーヌTフッ素水性」、「TSトップ」をご採用ください。
- ・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

適用部位: 屋上など

# サラセーヌ® 外断熱・機械的固定 AIM 工法

サラセーヌAIM-SB30TJサーモ-U300



環境対応型 特化則非該当仕様

工法名	工程	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	備考	
AIM-SB30TJサーモ-U300 AIM-SB30TJフッ素サーモ-U300	1 ウレタンボード30t	1.8 枚	非歩行用平場仕様 防水層厚み平均3mm ポリウレタン系断熱ボード (30mm厚み)	
	Fプラグ・ビス(6mm) / ディスク盤D	2.0 箇所		
	Mテープ	2.8 m		
	2 Mシート	1.06 m		
	MLアンカー / スぺーサー	3.2 箇所		
	MLテープ	1.06 m		
	クロス#5140N / サラセーヌSB立上り用	1.06 m		
	端末処理用テープ MBテープ100	—		
3 サラセーヌSB	2.0	非歩行用平場仕様 防水層厚み平均3mm ポリスチレン系断熱ボード (30mm厚み)		
4 サラセーヌSB	2.0			
5 TJサーモ または TJフッ素サーモ	0.2 0.15			
AIM-SB30TJサーモ-S300 AIM-SB30TJフッ素サーモ-S300	1 Sボード30t		1.2枚	非歩行用平場仕様 防水層厚み平均3mm ポリスチレン系断熱ボード (30mm厚み)
	Fプラグ・ビス(6mm) / ディスク盤D*1		1.4箇所	
	Mテープ	2.3 m		
	2 Mシート	1.06 m		
	MLアンカー / スぺーサー*2	3.2箇所		
	MLテープ	1.06 m		
	クロス#5140N / サラセーヌSB立上り用	1.06 m		
	端末処理用テープ MBテープ100	—		
3 サラセーヌSB	2.0	立上り仕様* 防水層厚み平均2mm		
4 サラセーヌSB	2.0			
5 TJサーモ または TJフッ素サーモ	0.2 0.15			
AIMN-SB立上り20TJサーモ AIMN-SB立上り20TJフッ素サーモ	1 PW-100プライマー		0.25	立上り仕様* 防水層厚み平均2mm
	2 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度		1.3	
	3 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度	1.3		
	4 TJサーモ または TJフッ素サーモ	0.2 0.15		



一般仕様

工法名	工 程	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	備 考
AIM-SB30Tサーモ-U300	1 ウレタンボード30t	1.8枚	非歩行用平場仕様 防水層厚み平均3mm ポリウレタン系断熱ボード (30mm厚み)
	Fプラグ・ビス(6mm)／ディスク盤D*1	2.0箇所	
	Mテープ	2.8 m	
	2 Mシート	1.06 m	
	MLアンカー／スぺーサー*2	3.2箇所	
	MLテープ	1.06 m	
	クロス#5140N／サラセーヌSB立上り用	1.06 m	
	端末処理用テープ MBテープ100	—	
	3 サラセーヌSB	2.0	
	4 サラセーヌSB	2.0	
5 サラセーヌTサーモ	0.2		
AIM-SB30Tサーモ-S300	1 Sボード30t	1.2枚	非歩行用平場仕様 防水層厚み平均3mm ポリスチレン系断熱ボード (30mm厚み)
	Fプラグ・ビス(6mm)／ディスク盤D*1	1.4箇所	
	Mテープ	2.3 m	
	2 Mシート	1.06 m	
	MLアンカー／スぺーサー*2	3.2箇所	
	MLテープ	1.06 m	
	クロス#5140N／サラセーヌSB立上り用	1.06 m	
	端末処理用テープ MBテープ100	—	
	3 サラセーヌSB	2.0	
	4 サラセーヌSB	2.0	
5 サラセーヌTサーモ	0.2		
AIMN-SB立上り20Tサーモ	1 PW-100プライマー	0.25	立上り仕様* 防水層厚み平均2mm
	2 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度	1.3	
	3 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度	1.3	
	4 サラセーヌTサーモ	0.2	

※出隅部等の膜厚が確保できない場合は、数回に使用量を分けたり、補強用クロスまたはクロステープ#100をご使用ください。

\*入隅は、ウレタンシーリング材で三角打ち(10mm幅程度)処理をしてください。

\*1：Fプラグ・ビス(6mm)／ディスク盤Dは、下地が新設コンクリートや既存ウレタン防水など平滑な下地で強い風が吹かない地域の場合は、両面プチル粘着テープ#718に代えることができます。詳細は「サラセーヌ防水カタログ」をご参照ください。

\*2：スぺーサーは作業性改善の資材ですので、必要に応じて省くことができます。

・「非歩行用」とは点検程度の人の歩行に供する場合があります。

・下地やシート裏面が濡れていないことを確認してください。

・下地の種類に応じてプライマーを追加したり、選定し直す必要があります。詳細は「サラセーヌ防水カタログ」をご参照ください。

・下地の状態やプライマーの種類によって塗布量は異なります。

・保護仕上材のカラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては「サラセーヌ防水カタログ」をご参照ください。

・品確法で定める新築住宅の場合、保護仕上材として「TJフッ素サーモ」、「サラセーヌTフッ素水性サーモ」、「TSサーモ」をご採用ください。

・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。



## 公共建築工事標準仕様相当工法（令和4年版）

工法名	工程	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )
X-1(絶縁工法) サラセーヌQV-X-1SB TJトップ仕上げ サラセーヌQV-X-1SB TJフッ素仕上げ	1 PJプライマー	0.2
	2 QVシート	1.06 m
	ジョイントテープ/サラセーヌSB立上り用	1.06 m
	端末処理用テープ MBテープ100	—
	3 サラセーヌSB または サラセーヌSB中粘度	2.0
X-2(密着工法) サラセーヌX-2SB TJトップ仕上げ サラセーヌX-2SB TJフッ素仕上げ	4 サラセーヌSB または サラセーヌSB中粘度	1.9
	5 TJトップ または TJフッ素	0.2 0.15
	1 PJプライマー	0.2
	2 サラセーヌSB または サラセーヌSB中粘度 補強用クロス	0.8 —
	3 サラセーヌSB または サラセーヌSB中粘度	1.5
X-2(密着工法/立上り仕様) サラセーヌX-2立上りSB TJトップ仕上げ サラセーヌX-2立上りSB TJフッ素仕上げ	4 サラセーヌSB または サラセーヌSB中粘度	1.6
	5 TJトップ または TJフッ素	0.2 0.15
	1 PJプライマー	0.2
	2 サラセーヌSB立上り用 補強用クロス	0.8 —
	3 サラセーヌSB立上り用	1.1
	4 サラセーヌSB立上り用	0.7
	5 TJトップ または TJフッ素	0.2 0.15

- ・下地により、プライマーの種類および塗布量は異なります。詳細は「サラセーヌ防水カタログ」をご参照ください。下地種類に応じてプライマーを追加したり、選定しなおしたりする必要があります。
- ・規定厚みの処置が取れば「サラセーヌSB」は「サラセーヌSB中粘度」に変更可能です。
- ・保護仕上材の種類、カラーバリエーション、仕上げオプション、メンテナンスについては「サラセーヌ防水カタログ」をご参照ください。
- ・品確法で定める新築住宅の場合、保護仕上材として「TJフッ素」、「サラセーヌTフッ素水性」、「TSトップ」をご採用ください。
- ・モルタル・コンクリート下地は、金ごてで押さえて平滑にしてください。
- ・この工法は、日本建築学会 建築工事標準仕様書JASS 8 防水工事(2022)ウレタンゴム系塗膜防水工法・絶縁仕様L-USSおよびウレタンゴム系塗膜防水工法・密着仕様L-UFSに準拠します。
- ・SRステンレスバントは25～100m<sup>2</sup>に1箇所の割合で、SRバラバントは10mに1箇所の目安で取り付けてください。

## 公共建築工事標準仕様書（令和4年版）

### ウレタンゴム系塗膜防水工法の種別及び工程

種別	X-1工法(絶縁工法)		X-2工法(密着工法)	
	材料・工法	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	材料・工法	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )
1	接着剤塗り 通気緩衝シート張り※1	0.3	プライマー塗り	0.2
2	ウレタンゴム系 塗膜防水材塗り	3.0※4、※5	ウレタンゴム系塗膜防水材塗り 補強布張り	0.3
3	ウレタンゴム系 塗膜防水材塗り		ウレタンゴム系 塗膜防水材塗り	2.7※4、※5 (1.7)※2
4	仕上塗料塗り※6	—	ウレタンゴム系 塗膜防水材塗り	
5	—	—	仕上塗料塗り※6	—

※1：接着剤以外による通気緩衝シートの張付け方法は、主材料の製造所の仕様による。

※2：立上り部は全て、種別X-2とし、工程3及び工程4のウレタンゴム系防水材の使用量を( )内とする。

※3：表中のウレタンゴム系塗膜防水材の使用量は、硬化物比重が1.0である材料の場合を示しており、硬化物比重がこれ以外の場合は、所定の塗膜厚を確保するように使用量を換算する。

※4：ウレタンゴム系塗膜防水材塗りは2回以上に分割して塗り付ける。

※5：ウレタンゴム系塗膜防水材塗りの1工程当たりの使用量は、平場は2.5kg/m<sup>2</sup>、立上りは1.5kg/m<sup>2</sup>を上限とする。

※6：仕上塗料の種類及び使用量は、特記による。特記がなければ、使用量は主材料の製造所の仕様による。

# サラセーヌ ES 工法

## 既存塩ビシート防水改修工法

### サラセーヌ ES 工法の適用基準

- ①設計図書にて、適切な下地処理と工法の選択がされていることを確認する。
- ②現地調査にて、既存防水層に著しい劣化がないこと、層間プライマーの付着性が良好なことなどを確認する。
- ③注意事項(17ページ) に反する現場には適用しない。

### 現場チェック方法

#### 既存塩ビシート防水層の確認

劣化度合いは？  
既存防水層に断熱材は入っているか？  
建物の躯体構造は？

ES工法 下地チェックシート  
改修方法の目安としてチェックシートをご用意  
しています。参考としてご使用ください。



こちらのQRコードからダウンロードして  
ください。

#### サラセーヌ ES 工法適用の可否(判定)

○:適用可能

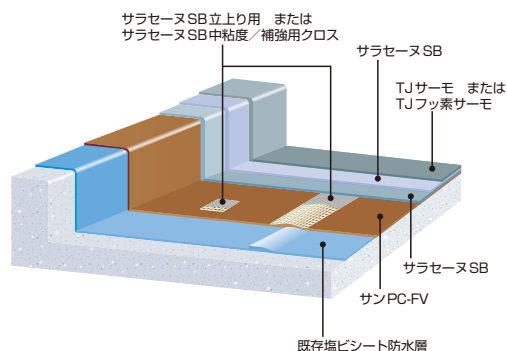
△:部分補修して適用可能

×:適用不可

防水層の回復

サラセーヌ ES 工法

サラセーヌ機械的固定  
AM工法  
または、既存防水層を撤去し、  
適切な防水工法を選定  
(AV工法、AIM工法など)



### 既存塩ビシート防水改修工法 サラセーヌ ES 工法

工法名	工程	使用量(kg/m <sup>2</sup> )	備考
サラセーヌ ESSD-SB30 TJサーモ ESSD-SB30 TJフッ素サーモ	1 サンPC-FV	0.1~0.15	平場仕様 防水層厚み平均3 mm
	2 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度 既存シートジョイント部処理補強用クロス	0.1 kg/m <sup>※</sup> —	
	3 サラセーヌSB	2.0	
	4 サラセーヌSB	1.9	
	5 TJサーモ または TJフッ素サーモ	0.2 0.15	
サラセーヌ ESSD-SB立上り20 TJサーモ ESSD-SB立上り20 TJフッ素サーモ	1 サンPC-FV	0.1~0.15	立上り仕様 防水層厚み平均2 mm
	2 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度 既存シートジョイント部処理補強用クロス	0.1 kg/m <sup>※</sup> —	
	3 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度	1.3	
	4 サラセーヌSB立上り用 または サラセーヌSB中粘度	1.3	
	5 TJサーモ または TJフッ素サーモ	0.2 0.15	

※下地状況により、使用量が増減することがあります。ジョイント処理の塗布幅は100mm程度です。

## 施工上の注意

### サラセーヌSBの施工上の注意

サラセーヌSBは1液防水材のため、塗布後、表面から硬化が始まります。そのため、一度に厚付けすると、シワ・ダレの原因になります。特に、ベランダなどで勾配のきつい箇所に平場用防水材「サラセーヌSB」、立上り部に中粘度タイプ防水材の「サラセーヌSB中粘度」を使用する場合は、数回に分けて塗布してください。凹凸が激しい箇所は液だまりの原因(硬化遅延の原因)になるので、下地調整を行ってください。必要に応じて、1液防水材専用硬化促進剤を使用してください。

### ECO用希釈剤の使用上の注意

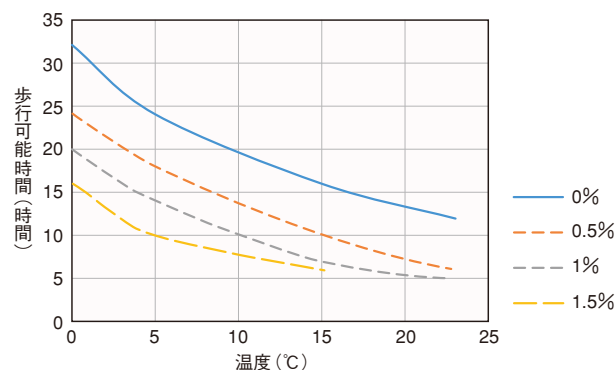
規定量を超えたECO用希釈剤でサラセーヌSBを希釈すると、未硬化の原因になります。希釈する際は適切な希釈剤を使用し、規定量を遵守してください。

### 低温時の注意

低温時は必ず1液防水材専用硬化促進剤を使用してください。添加量の目安は下記のグラフを参照してください。

添加しすぎると、可使用時間が短くなるのでご注意ください。

### 1液防水材専用硬化促進剤の添加量目安



1液防水材専用硬化促進剤  
450ml×9本/缶

サラセーヌSB、サラセーヌSB立上り用、サラセーヌSB中粘度以外には使用しないでください。

添加量は重量比で1.5%を上限にしてください。

### サラセーヌES工法の施工上の注意

- 既存塩ビシート防水層立上り部の付着性や端部の納まりが悪い場合は、立上り部は撤去してください。撤去部下地コンクリートは平滑に調整し、シート切断端部はフラットバーなどを用いて固定してください。
- 既存塩ビシート防水層は、施工後の経過年数や使用状況、環境条件などによって、劣化の度合いが大きく異なります。
- サラセーヌES工法は、遮熱仕上げを原則としています。保護仕上材より適した遮熱用保護仕上材を選定してください。詳細は、「サラセーヌ総合カタログ」をご覧ください。
- 事前にプライマー「サンPC-FV」の付着性を確認してください。
- 既存塩ビシート防水層の劣化部は是正処置により、別紙「下地チェックシート」の判定基準を満たしてください。
- 既存塩ビシート防水層のジョイント部などの不陸により、凹凸が目立つ場合があります。予めご了承ください。また、ウレタン塗膜防水施工後に水たまりが発生する場合があります。下地処理の段階で是正を行ってください。
- プライマーの付着性を阻害させる粉塵、油脂類、鉄錆などは事前に必ず除去してください。
- 既存塩ビシート防水層の付着状況および機械固定状況に不良がある場合は適用できません。
- 既存ルーフトレンや排水口の周囲が、著しく水はけのわるい場合は、既存塩ビシート防水層を部分的にハツリ撤去することや新設するウレタン防水層の納まりを検討するなど関係者各位で協議してください。
- 既存塩ビシートのジョイント部分や重ね張り部分の段差(凸部)では、ウレタン塗膜の厚みが薄くなりやすいため、必要に応じて、ウレタン防水材の塗布回数を増やしたり補強用クロスを用いるなどウレタン塗膜の厚みが確保できる処置をしてください。
- 既存塩ビシートの状態によっては、新設したウレタン防水層の表面にブリード現象(変色、汚れ)などが生じるおそれがあります。
- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## 技術資料

### ■性状

項目	サラセーヌSB	サラセーヌSB中粘度	サラセーヌSB立上り用
配合比	1液	1液	1液
外観	グレー系粘稠液体	グレー系粘稠液体	グレー系パテ状
粘度 (mPa·s/20℃)	5,000	35,000	パテ状
初期硬化時間(時間/20℃)	24	24	24

### ■物性 (JIS A 6021 屋根用塗膜防水材による試験結果)

項目	種類	屋根用塗膜防水材 ウレタンゴム系 高伸長形 規格	平場用		立上り用	
			サラセーヌ SB	サラセーヌ SB中粘度	サラセーヌ SB立上り用	
引張性能	引張強さ N/mm <sup>2</sup>	試験時温度 23℃	2.3以上	5.9	6.3	8.4
		試験時温度 -20℃	2.3以上	13	14	16
		試験時温度 60℃	1.4以上	2.7	2.6	5.0
	破断時の伸び率 %	試験時温度 23℃	450以上	690	680	500
		試験時温度 23℃	280以上	810	860	840
	破断時のつかみ間の伸び率 %	試験時温度 23℃	300以上	480	470	450
試験時温度 -20℃		250以上	440	430	390	
試験時温度 60℃		200以上	390	400	350	
引裂性能	引裂強さ	N/mm	14以上	21	22	23
加熱伸縮性能	伸縮率	%	-4.0以上1.0以下	-0.2	0	-0.2
劣化処理後の引張性能	引張強さ比 %	加熱処理	80以上	91	98	87
		促進暴露処理	60以上	88	110	89
		アルカリ処理	60以上	102	128	96
		酸処理	80以上	102	114	96
	破断時の伸び率 %	加熱処理	400以上	670	610	490
		促進暴露処理	400以上	650	660	490
		アルカリ処理	400以上	680	690	500
		酸処理	400以上	700	660	480
伸び時の劣化性状	加熱処理	いずれの試験片にも ひび割れ及び著しい変形が あってはならない。	異常なし	異常なし	異常なし	
	促進暴露処理		異常なし	異常なし	異常なし	
	オゾン処理		異常なし	異常なし	異常なし	
たれ抵抗性能(一般用は除く)	たれ長さ mm	いずれの試験片も3.0以下。	—	—	0	
	しわの発生	いずれの試験体にも あってはならない。	—	—	なし	
固形分	%	表示値±3.0	94	94	94	
硬化物比重		表示値±0.1	1.3	1.3	1.3	

上表の値は室内試験による特性値であり、保証値ではありません。現場環境により変化する場合があります。

## 荷姿



**サラセーヌSB**  
色:ブルーグレー  
硬化物比重1.3  
16kg/缶  
9kg/缶(受注生産)



**サラセーヌSB立上り用**  
色:ブルーグレー  
硬化物比重1.3  
5kg/缶



**サラセーヌSB中粘度**  
色:ブルーグレー  
硬化物比重1.3  
9kg/缶

## 製品情報

### ■使用材料一覧表

品名	荷姿(kg)	危険区分	液比重	備考
<b>プライマー(環境対応型 特化則非該当品)</b>				
PJプライマー	(1成分) 16	—	4類1石(非水溶性)	1.01 弱溶剤 モルタル・コンクリート下地用
PJ層間プライマー	(1成分) 5	—	4類1石(非水溶性)	1.04 弱溶剤 ウレタン改修用 ウレタン層間用
PW-100プライマー	主剤	3	—	1.02 非危険物
	硬化剤	3	—	1.03 非危険物
	フィラー	6	—	—
PW-500プライマー	主剤	12	—	1.20 非危険物
	硬化剤	3	—	1.04 非危険物
PW-700プライマー	主剤	10	—	1.06 非危険物
	硬化剤	5	—	1.03 非危険物
PW-60プライマー	主剤	0.5×2	—	1.10 4類2石(非水溶性)
	硬化剤	5×2	—	1.01 非危険物
<b>プライマー(溶剤タイプ)*</b>				
サラセヌP	(1成分) 16	8	4類2石(非水溶性)	0.98 溶剤 モルタル・コンクリート下地用
P-60プライマー	(1成分) 5	—	4類1石(非水溶性)	0.89 溶剤 ウレタン改修用 ウレタン層間用
PMプライマー	(1成分) 16	—	4類1石(非水溶性)	0.98 溶剤 モルタル・コンクリート下地用 速乾タイプ
PE-670プライマー	主剤	8	—	1.50 4類2石(非水溶性)
	硬化剤	2	—	1.00 4類1石(非水溶性)
サンPC-FV	(1成分) 17	1×10	4類2石(非水溶性)	0.96 溶剤異種部材用プライマー(塩ビシート・FRP下地用)
<b>ウレタン防水材(環境対応型 特化則非該当品)*</b>				
サラセヌSB	(1液) 16	9 (受注生産)	4類2石(非水溶性)	1.32 平場用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形平場用認証製品
サラセヌSB立上り用	(1液) 5	—	指定可燃物 可燃性固体類	1.32 立上り用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形立上り用認証製品
サラセヌSB中粘度	(1液) 9	—	4類2石(非水溶性)	1.32 中粘度タイプ勾配屋根用防水材 JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形平場用認証製品
<b>保護仕上材(環境対応型 特化則非該当品)</b>				
TJフッ素	主剤	2	—	1.02 4類2石(非水溶性)
	硬化剤	6	—	1.10 4類2石(非水溶性)
TJフッ素サーモ	主剤	2	—	1.02 4類2石(非水溶性)
	硬化剤	6	—	1.10 4類2石(非水溶性)
TSトップ	主剤	6	—	0.99 4類2石(非水溶性)
	硬化剤	9	—	1.16 4類2石(非水溶性)
TSトップ半艶	主剤	6	—	0.99 4類2石(非水溶性)
	硬化剤	9	—	1.16 4類2石(非水溶性)
TSサーモ	主剤	6	—	0.99 4類2石(非水溶性)
	硬化剤	9	—	1.16 4類2石(非水溶性)
TJトップ	主剤	6	—	0.99 4類2石(非水溶性)
	硬化剤	9	—	1.16 4類2石(非水溶性)
TJトップ半艶	主剤	6	—	0.99 4類2石(非水溶性)
	硬化剤	9	—	1.16 4類2石(非水溶性)
TJサーモ	主剤	6	—	0.99 4類2石(非水溶性)
	硬化剤	9	—	1.16 4類2石(非水溶性)
サラセヌTフッ素水性 (受注生産品)	主剤	1	—	1.10 4類3石(非水溶性)
	硬化剤	10	—	1.10 非危険物
サラセヌTフッ素水性サーモ (受注生産品)	主剤	1	—	1.10 4類3石(非水溶性)
	硬化剤	10	—	1.20 非危険物
TWトップ	主剤	1	—	1.09 指定可燃物 可燃性液体類
	硬化剤	10	—	1.15 非危険物
TWサーモ(受注生産品)	主剤	1	—	1.09 指定可燃物 可燃性液体類
	硬化剤	10	—	1.17 非危険物
<b>保護仕上材(溶剤タイプ)*</b>				
サラセヌT	主剤	6	2	0.94 4類2石(非水溶性)
	硬化剤	9	3	1.20 4類1石(非水溶性)
サラセヌT半艶	主剤	6	—	0.94 4類2石(非水溶性)
	硬化剤	9	—	1.13 4類1石(非水溶性)
サラセヌTサーモ	主剤	6	—	0.92 4類2石(非水溶性)
	硬化剤	9	—	1.20 4類1石(非水溶性)
<b>関連資材</b>				
1液防水材専用硬化促進剤	(1成分) 450ml×9	—	4類1石(非水溶性)	0.89 1液防水材専用硬化促進剤
ECO用希釈剤	(1成分) 16L	—	4類1石(非水溶性)	0.77 ウレタン防水材の希釈剤

\*サラセヌSBは、溶剤タイプのプライマーと保護仕上材を組み合わせることができます。詳細についてはお問い合わせください。

・防水資材やカラーバリエーション、仕上げオプションなど、詳細は「サラセヌ防水カタログ」などをご参照ください。

・仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## AGCポリマー建材株式会社

首都圏支店 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-3-8(沢の鶴人形町ビル) TEL:03-6667-8421  
 仙台営業所 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡2-2-10(セントールビル) TEL:022-299-6371  
 名古屋営業所 〒460-0003 名古屋市中区錦2-19-25(日本生命広小路ビル) TEL:052-219-5491  
 大阪営業所 〒550-0013 大阪市西区新町3-11-3(高六大阪ビル) TEL:06-6606-9910  
 九州営業所 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-12-10(第7グリーンビル) TEL:092-431-5154  
 北海道出張所 〒060-0061 札幌市中央区南1条西9丁目(株式会社三田商店内) TEL:011-241-5120

